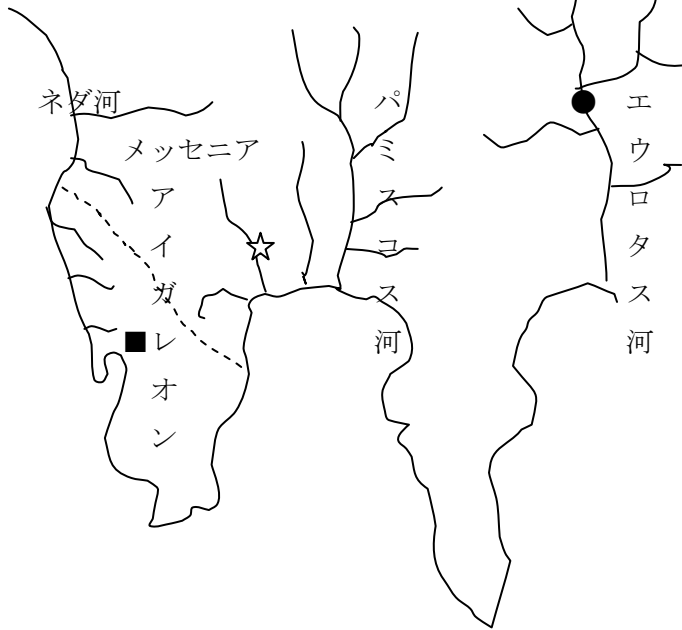


第8講 ミケーネの王国とその社会：ピュロス王国の場合（1）

1) 王国図



2) 身分構成

wa-na-ka (王)

- ホメロスの作品に出てくる anax
- 広大な所領を所有
- 宮殿内に作業工房
- 奴隷／女奴隷の集団労働
- 領内の村落から租税
- 軍の動員と統帥

e-qe-ta (従者)

- 側用人・小姓？
- 廷臣エリート
- 宮殿と前線部隊をつなぐ
- 連絡将校
- 戦車に搭乗

mo-ro-qa (持分地所有者)

- ローカル・エリート
- 父称名を持つ
- 部隊指揮官

一般住民層

te-re-ta (土地所有者)

- 村落 (da-mo) を構成
- 固有名詞を持つ
- da-mo-ko-ro (村長) のような公職に就く
- 契約の主体
- 土地を私有
- 職種で分類

po-me (羊飼い) ・ ke-ra-me-u (陶工) ・ ka-ke-u (鍛冶工) など

te-o-jo do-e-ro-ra (神の奴隷／女奴隷)

- 固有名詞を持つ
- 契約の当事者としての能力を有する

隷属身分層

do-e-ro-ra (奴隷／女奴隷)

qi-ri-ja-to (彼は買った) →購買されてきたことを示す

Mi-ra-ti-ja (ミレトス女)・Ku-ni-di-ja (クニドス女) →奴隷としての来歴地を示す

Ri-ne-ja (亜麻織女)・Pe-ki-ti-ra² (けば立て女) →宮殿付属工房での職種によって呼ばれる。

作業班に集団労働組織化

宮殿より食糧を定期的に定量配給 (月・大麦・2.4l)

3) 行政組織

De-we-ro-a³-ko-ra-i-ja (アイガレオスのこちら側)

9つの区・中心地: Pa-ki-ja-ne (現エンゲリアノス)

Pe-ra-a³-ko-ra-i-ja (アイガレオンの向こう側)

7つの区・中心地: re-u-ko-to-ro (現トゥーリア)

ko-re-te (区長)

po-ro-ko-re-te (助役)

da-mo (村)

da-mo-ko-ro (村長)

王国は村落のレベルまでは直接掌握

古典期のポリス国家とは異なる行政機構を持つ

4) 土地の所有形態

産業革命以前の社会では農業の比重は圧倒的だった

土地所有のあり方は重要

te-me-no (切り取り地)

ko-to-na ki-ti-me-na (占拠された土地=私有地)

ko-to-na ke-ke-me-na (放置された土地=公有地)

私有地や村有地を小作に貸し出す

o-na-to (小作地) と呼ばれる

何らかの義務を伴う